

Atos社、デジタルトランス フォーメーションと Versa Secure SD WANで コスト削減に成功

ケーススタディ

Atos社は、社員数112,000人、年間売上高約110億ユーロを誇る、デジタルトランスフォーメーション業界のグローバルリーダーです。フランスに本社を置くこの企業は、サイバーセキュリティやクラウドコンピューティング、ハイパフォーマンスコンピューティング分野で、業界最高レベルのソリューションを提供しています。Atos社のソリューションポートフォリオは多岐にわたっており、コンサルティングサービスに加え、サイバーセキュリティサービス、データアナリティクス、量子コンピューティング、人工知能、自動化、IoTなどのソリューションも提供しています。Atos社はグローバルに事業を展開しており、71か国のほぼすべての業種を対象に、エンドツーエンドのカスタムソリューションを提供しています。

さまざまな顧客にデジタルサービスやコンサルティングサービスを提供していくなかで、Atos社は、今後の成長に備えて自らもデジタルトランスフォーメーションが必要であると認識を新たにしました。

グローバル規模でデジタルトランスフォーメーションの課題を克服

Atos社は、software-defined wide-area networking (SD WAN) を使い、海外にある12のリモートサイトを含む230以上のロケーションでトランスフォーメーションを実現し、将来のために万全に準備をする必要がありました。Atos社が将来の成長をサポートする方法を模索し始めた際、同社は、最近ERPシステムを他の数多くのSaaSエキスパートソリューションと共にクラウドに移行したことから、ワークスペースサービスも完全なクラウドベースモデルに移行する準備が整っている点を考慮しました。

Atos社はまもなくして、ゲストネットワークアクセスにおいてセキュリティを確保するため、完全なクラウドベースのサービスの利用を検討し始めます。同社の各国の社員が生産性を維持するためには、安定したネットワークインフラストラクチャに支えられたクラウドサービスが不可欠です。SD WANを利用すれば、同社のITチームは、高水準のネットワークパフォーマンスを確保できます。

Atos社はまた、ネットワークのパフォーマンスを改善し、ベンダーの数を最大限に増やし、コストを削減するため、ローカルのインターネットプロバイダーを利用したいと考えていました。Atos社 Head of IT, NetworkのDamian Mudge氏は次のように述べています。「SD WANネットワークで柔軟性を向上させたいと考えていました。グローバルで一貫したサービスを提供できるサプライヤーを見つけるのは容易ではありません。そのため、SD WANソリューションを選択し、その上にオーバーレイできるような柔軟性を求めています。この新しいアーキテクチャのおかげで、アンダーレイの面で、ある程度の自由が得られました。コストの削減効果は非常に大きなものでした。」

Mudge氏は続けます。「これまで、グローバルで1つのプロバイダーだけを利用していましたが、求めていたSD WANアーキテクチャのような柔軟性はありませんでした。より柔軟性の高いアーキテクチャという次のステージへ我々を連れて行くために必要な準備が、ベライゾンほど整っていなかったのです。また、将来に向けて進化する上で、我々が求めているようなスピードも兼ね備えていませんでした。」

過去に、ベライゾンとの幅広いコラボレーションを経験していたAtos社は、ベライゾンが今回のプロジェクトに必要なネットワークについての豊富なノウハウを持っていることを知っていました。そして、SD WANの導入を完了する上で、ベライゾンが強力なパートナーになることを理解していました。Mudge氏は言います。「ベライゾンは競合他社に比べ、非常に魅力的です。私が最も重視するのは、頼りになるパートナーであるかどうかです。頼りになるパートナーが見つければ、我々もお客様を支援できます。そのようなパートナーはとても重要な存在です。」このような点を念頭に置いてベライゾンをパートナーに選択した結果、Atos社は、グローバルなSD WANの取り組みを完成させました。

ベライゾンのソリューションとVersa SD WANを活用し、コスト効率の高いデジタルトランスフォーメーションをすばやく実現

ベライゾンの提案は、230以上のデジタルトランスフォーメーションのために、革新的なVersa Secure SD WANソリューションを活用することでした。対象となったのは、欧州と中東・アフリカ地域の約160拠点、英国とアイルランドの25拠点、北米と南米の約30拠点、アジア太平洋地域と南米の30以上の拠点です。これまで、ベライゾンとAtos社は、これらの拠点のうちの220以上でVersa Secure SD WANの展開を完了しており、その中には、遠隔地にある12のリモート拠点が含まれています。SD WANの柔軟性により、Atos社は、クラウドサービスのコンポーネントを完全に活用できるようになり、進化するニーズに対応しています。



例えば、Atos社は最近、ゼロトラストのセキュリティ手法でゲストインターネットサービスを導入するために、100%クラウドベースのCloudi-Fiを導入しました。Mudge氏は言います。「セキュアでコスト効率の高い環境をグローバルで実現するために、220以上の拠点でベライゾンのサポートを受けながら、Cloudi-FiとVersa Secure SD WANをシームレスに統合しました。これまでは、レガシーのオンプレミスのサービスを利用しており、それは、扱いづらく、手がかかるサービスでした。SD WANソリューションを利用するようになってからは展開がずっと楽になりました。」

Atos社のITチームは、業務の効率化を図る上でSD WANを利用しています。Mudge氏は次のように説明します。「従来のオンプレミスのワークスペースでは、オフィスでマシンを構築し、そこですべてを管理する必要がありました。しかし、オフィスから、或いはリモートでマシンを設定できるクラウドベースのサービスに移行して以来、すべてがインターネットローカルブレイクアウトを経由するようになり、より効率的になりました。」この方法は、高額なマルチプロトコルラベルスイッチング (MPLS) の代わりにローカルブレイクアウトを利用できるため、コスト効率にも優れているとMudge氏は指摘します。

「ベライゾンは競合他社に比べ、非常に魅力的です。私が最も重視するのは、頼りになるパートナーであるかどうかです。頼りになるパートナーが見つければ、我々もお客様を支援できます。そのようなパートナーはとても重要な存在です。」

— Damian Mudge氏、Atos社 Head of IT, Network

コストを削減しながら着実に導入

Mudge氏は次のように述べます。「50か国以上、230を超える拠点でネットワークトランスフォーメーションを進めています。新しいSD WANインフラストラクチャに切り替えることで、以前に利用していたWANソリューションに対して、25%~30%のコストを削減することができます。新型コロナウイルス感染症の拡大と、それに伴う様々な制約、ロックダウン、世界的な半導体不足に起因するハードウェアの生産の遅延など、様々な課題がありました。しかし、ベライゾンとの緊密なコラボレーションを通して、このような課題を乗り越え、成果を得ることができました。志があるところに道は開けます。我々はベライゾンと共に道を見出しました。このプロジェクトは、類似した過去のどのプロジェクトよりも、ずっと短期間で作業を完了することができています。」

ネットワークの冗長性とパフォーマンスを改善

Mudge氏とチームは、ベライゾンと共にVersa Secure SD WANを導入した結果、ネットワークパフォーマンスの大幅な改善を観測しています。Mudge氏次のように述べています。「以前のサービスと比較して、大規模なインシデントや、システムの停止といった問題が、大幅に改善されています。以前は週に数回のインシデントが発生していたのに対し、今年は、数週間、場合によっては数ヶ月の間、一度も発生しないことがありました。」プライマリとバックアップそれぞれのために、信頼性の高いベライゾンのネットワーク接続を保持することで、ネットワークのレジリエンスと冗長性が確保されています。

オンサイトのネットワーク接続を強化しながら、リモートワーク環境を実現

SD WANを活用し、ITサービスをアップデートしたことで、Atos社では、社員のエクスペリエンスが向上しています。新型コロナウイルス感染症が拡大した初期の段階では、社員の大部分がリモートワークをしていたため、Atos社のITチームは、大きな混乱無しにエクスペリエンスの向上を実現することができました。Mudge氏は言います。「エクスペリエンスが向上したのは、オフィスのネットワーク環境の改善に向けて取り組んだ成果です。社員に言っています。“あなたたちが在宅勤務をしている間に、私たちは忙しく働いて、これを実現したのですよ”、と。」

ITチームのもとには、社員から好意的なフィードバックがいくつも寄せられ始めています。Mudge氏は次のように述べます。「ITの様々な側面について、エンドユーザーの満足度を調べるサーベイを毎年行っています。ここ数年、社員の勤務形態が在宅勤務になっていたため、オフィスのネットワーク環境に関する質問をあまりしてきませんでした。しかし、今年の初めにその質問を尋ねたところ、過去数年間のどの年よりも、ずっと高いスコアを得ることができました。地域を問わず、ゲストネットワークなどの要素に関して、オフィスのネットワーク環境が良くなっているのは明らかでした。」

「50か国以上、230を超える拠点でネットワークトランスフォーメーションを進めています。新しいSD WANインフラストラクチャに切り替えることで、以前に利用していたWANソリューションに対して、25%~30%のコストを削減することができます。」

— Damian Mudge氏、Atos社 Head of IT, Network

将来の成長のために強固な基盤を構築

SD WANの展開を完了する明確な道筋が見えた今、Atos社は、これまでベライゾンのサポートを受けながら進めてきた迅速な作業スピードを維持しつつ、できるだけ多くの拠点で展開を完了するよう目指しています。新型コロナウイルス感染症の流行によって生じた重要な課題を考慮し、Mudge氏は、今回の展開の実績を注目すべき成果であると考えています。Mudge氏は次のように締めくくりました。「これまでのどのプロジェクトよりも、ずっと速いペースで作業を完了しようとしています。これには主に、ベライゾンとの緊密な連携が関係していると考えています。柔軟性の高いネットワークアーキテクチャを採用し、ベライゾンとの強固な関係を築いたおかげで、Atosは、ビジネスが成長し続ける輝かしい未来のための盤石な基盤を手に入れました。」

関連情報

お客様のビジネスに貢献するコネクティビティソリューションの詳細をぜひご確認ください。

verizon.com/business/en-gb/products/networks/managed-network-services/managed-sd-wan/